

金城学院の歴史

前編 / 1889年(明治22年)～1988年(昭和63年)

The History of Kinjo Gakuin

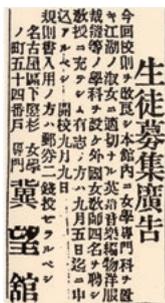
金城学院は、1889年、アメリカ人宣教師アニー・ランドルフが名古屋の一隅に開いた小さな私塾がその始まりです。それから130年。ランドルフの蒔いた一粒の種は、幼稚園から大学院まで約7,300名が集う女子総合学園へと結実しています。ここでは、その歩みを2回に分けて振り返ります。

1889 (明治22年)

1889年9月9日、アメリカ人宣教師アニー・ランドルフが、同じく宣教師ロバート・マカルピンの協力を得て、名古屋区下堅杉ノ町54番戸にある自宅を解放して「女学専門冀望館」を創立。女子教育への社会的認識が低く、「女子に学問は無用」などと言われていた時代の名古屋の女性に、知識・技能だけでなく、感性や徳性なども重視したキリスト教の聖書の教えに基づく全人教育を施しました。そして、女性が持てる力をしっかりと社会で発揮し、世界の平和に貢献しなければいけないことを教えました。

1890 (明治23年)

校名を私立金城女学校と改称。1901年には生徒数が60名を超えたため、白壁4丁目(現在地)に校舎を移築しました。



最初の生徒募集広告
(1889年1月9日付新愛知新聞)



わずか3名の生徒で始まった女学専門冀望館(写真は創立者ランドルフと最初の入学者3名の中の2名)。



アニー・ランドルフ
(1889-1892年在職)。17年間中国の寄宿女学校で校長を務めていたが、60歳の時、健康上の理由で帰国する途中日本に立ち寄り、日本の女子教育を決意。金城学院を創立した。



ロバート・マカルピン

金城学院は2019年10月、創立130周年を

1908 (明治41年)

地久節不敬事件により生徒数が激減。その数わずか38名となり、廃校の危機を迎えましたが、ヒューストン校長以下教職員の篤い信仰と忍耐力によってこれを乗り越えました。



市村與市

1913 (大正2年)

大講堂を除く全校舎の改築および新築を行いました。この工事に要した費用のほとんど全てが米国南長老派教会からの寄付によるものでした。

1917 (大正6年)

市村與市が第9代校長に就任。教育理念実現に向けた「指導綱領9則」を定め、スマイス宣教師夫妻とともに、その後の金城学院の発展に大きく貢献しました。

1918 (大正7年)

ラングドン・スマイスが校主(理事長)に就任。この年初めて生徒数が200名を超えました。

1920 (大正9年)

校章を制定。デザインを生徒から募集し、その一つを採用しました。この年、同窓会名を「みどり野会」に改称。

1927 (昭和2年)

中部地方で最初の女子専門学校として認可され、校名を金城女子専門学校に変更。1933年からは帰国子女の受け入れを開始。1936年にはアグネス・スコット大学と交換留学生の提携を行い、本学として初めて1名の学生を派遣しました。



エラ・ヒューストン
1893年、金城女学校に赴任。以来19年間にわたって金城学院の発展を支え続けた。



〈右〉現在の校章。戦後、いつのまにか白百合の向きが変わっています。



スマイス宣教師夫妻



専門学校正門。
この頃正門は白壁町側でありました。

栄光館と
白壁校舎



1936 (昭和11年)

大講堂「栄光館」が竣工。

1937 (昭和12年)

日中戦争が勃発。1939年から軍事教練が行われるようになりました。



校舎いっばいに掘られた
防空壕 (1943年)

1944 (昭和19年)

学徒動員が始まり、すべての生徒が近くの兵器等の製造工場
で働くことになりました。名古屋に空襲が始まった最初の
12月13日、三菱発動機研究所に動員されていた高女部
1年生の3名が爆撃の犠牲になりました。

1945 (昭和20年)

1月23日、爆撃により校舎全半壊。その年8月15日に終戦
となり、栄光館を応急修理し、9月1日に授業を再開。生徒
も復校し、1,000名近くが集まりました。



薙刀の訓練をする生徒



栄光館の3階階段付近。
ポツカリあいた穴から
空が仰がれました。
(1945年)

爆撃を受けた後援館
(1945年)



1947 (昭和22年)

学制改革により金城学園中学校を設立。翌1948年、金城学院中学校に名称変更
するとともに金城学院高等学校を設立しました。

1949 (昭和24年)

守山市大森に金城学院大学 (英文学部英文学科) を設立。翌1950年、専門学校を
廃止し、金城学院大学短期大学部 (文科・家政科) を設立しました。



中学校と高校が同じ
キャンパスに

迎えます。 130

1951 (昭和26年)

財団法人金城女子専門学校を学校法人金城学院に名称変更しました。

1954 (昭和29年)

金城学院大学英文学部を文学部に名称変更すると
ともに国文学科を増設しました。

1962 (昭和37年)

金城学院大学家政学部家政学科を開設するとともに、文学部に社会学科
を増設しました。

1966 (昭和41年)

金城学院大学家政学部に児童学科を、短期大学部に保育科を増設しました。

1967 (昭和42年)

金城学院大学大学院文学研究科英文学専攻
修士課程を設置。翌1968年には文学研究
科国文学専攻修士課程を増設しました。



1972年当時の幼稚園

1972 (昭和47年)

金城学院幼稚園を設立しました。

1988 (昭和63年)

金城学院大学大学院に文学研究科社会学専攻修士課程を増設しました。



1948年、スマイス
夫人の骨折りでヘ
レンケラーが来校。
栄光館での講演は
生徒たちに深い感
銘を与えました。



大学本館の定礎式
(1949年)

次号では
1989年 (平成元年) ~ 現在
までを振り返ります